

縄文遺跡を映像とトークショーで紹介する上映会 「“縄文”が世界遺産になりました」3月13日SKIPシティにて開催

埼玉県は、映像公開ライブラリーが所蔵する映像を活用し、埼玉や日本の文化・産業をより深く知っていただく機会として、**SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ**（川口市）にて、**＜上映会とトークショー＞**シリーズを定期的に開催しています。3月13日（日）に開催する今年度2回目のイベントでは、昨年7月に世界文化遺産に登録された縄文遺跡を紹介します。

イベント前半では、北海道・北東北の縄文遺跡群を代表する三内丸山遺跡（青森県）で1994年に行われた発掘調査の記録映像（60分）を上映します。後半は、縄文ブームの火付け役となったフリーペーパー「縄文ZINE」の編集長・望月昭秀氏と、映画「縄文にハマる人々」の監督・山岡信貴氏によるトークショーを行います。



『三内丸山遺跡』（文化庁所蔵）

●トークゲスト

望月 昭秀（「縄文ZINE」編集長）

1972年生まれ。株式会社ニルソンデザイン事務所代表。縄文時代専門のフリーペーパー「縄文ZINE」編集長。著書に『蓑虫放浪』（国書刊行会）、『縄文人に相談だ』（KADOKAWA文庫）、『縄文力で生き残れ』（創元社）など。



望月昭秀氏

山岡 信貴（映画監督）

大阪府出身。初長編映画「PICKLED PUNK」でベルリン映画祭ほか多数の映画祭に招待上映され、以後も実験的なスタイルの作品を発表し続けている。ドキュメンタリー映画「縄文にハマる人々」の制作を通じて自身も縄文ファンになる。



山岡信貴氏

●タイムテーブル

14:00～15:00 映像上映『木と水の王国 ―青森三内丸山遺跡'94―』

15:00～15:10 休憩

15:10～16:00 トークショー（ゲスト：望月昭秀氏／山岡信貴氏）

【タイトル】令和3年度第2回上映会とトークショー「“縄文”が世界遺産になりました」

【日 時】2022年3月13日（日）14:00～16:00

【会 場】SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ4階 映像ホール

【料 金】無料（事前申込制）

【定 員】160名（先着順／定員になり次第、受付終了）

【主 催】埼玉県

【お問合せ・申込】株式会社デジタルSKIPステーション（担当：田村）

TEL：048-260-7777（平日9:30～17:30）/ FAX：048-265-2628（24時間受付）

H P：http://www.skipcity.jp または  で検索

※ 入場時は、マスクの着用、入館時の検温、手指の消毒にご協力いただいています

※ 間隔をあけるため、定員数を減らしています

※ イベントは、状況により予告なく変更・中止になる場合もございます

本リリースに関するお問合せ：株式会社デジタルSKIPステーション 広報：千賀

Tel：048-264-7777（プレス向けお問合せ先） Eメール：info@skipcity.com

※株式会社デジタルSKIPステーションは埼玉県からの委託により、SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザの管理・運営を行っています。

※すべてのイベントは予告なく変更または中止となる場合がございますのでご了承ください。